



モスピラン® 顆粒水溶剤

農林水産省登録第 22583 号



日本曹達株式会社農業化学品事業部普及グループ

1. はじめに

「モスピラン水溶剤」は平成 7 年 11 月に農薬登録（登録番号：第 19112 号）を取得し、優れた効果・長い残効性に加え、適用作物の幅広さ、有用昆虫（ミツバチ・マルハナバチ）に対する影響の少なさ、作物に対する汚れの少なさ等をご評価頂き、数多くのネオニコチノイド系殺虫剤のなかでも特段のご愛顧を頂いて参りました。

この度、水溶剤希釈時の粉立ちを改善し、使用者の安全性や使いやすさにより配慮した「モスピラン顆粒水溶剤（登録番号：第 22583 号）」を上市さ

せて頂きました。顆粒水溶剤は現行の水溶剤を原料として成型（図 1）したもので水溶剤同様水によく溶け、その希釈液（散布液）は水溶剤と同様にお使い頂くこと（図 2、表 1）が可能です。

また、「顆粒水溶剤」はその製造方法から、農林水産消費安全技術センター農薬検査部（通称 FAMIC）より水溶剤と同等品との認定を受け、ほぼ水溶剤同様の登録内容を取得するに至りました。従いまして、適用作物・害虫・使用方法・薬害の注意事項等の内容も水溶剤とほぼ同様となります。

皆様方には、モスピラン顆粒水溶剤を末長くご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

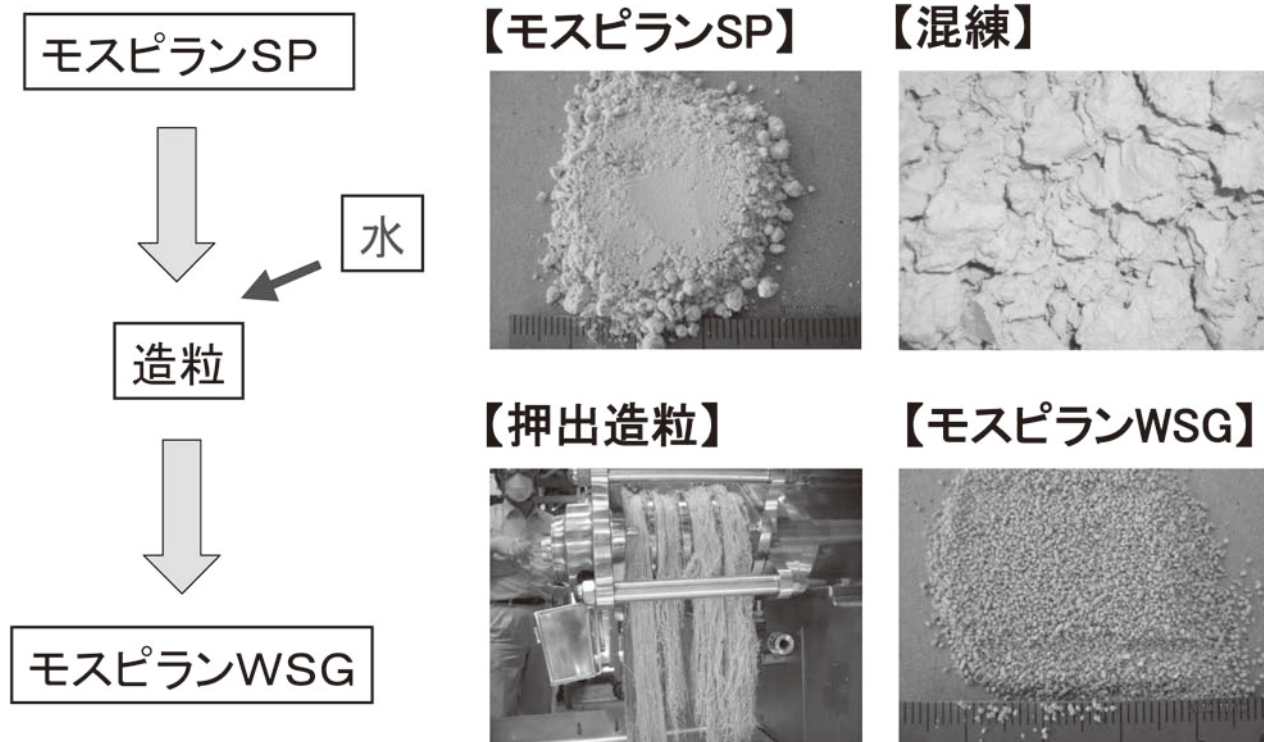


図 1.モスピランWSGの製造方法

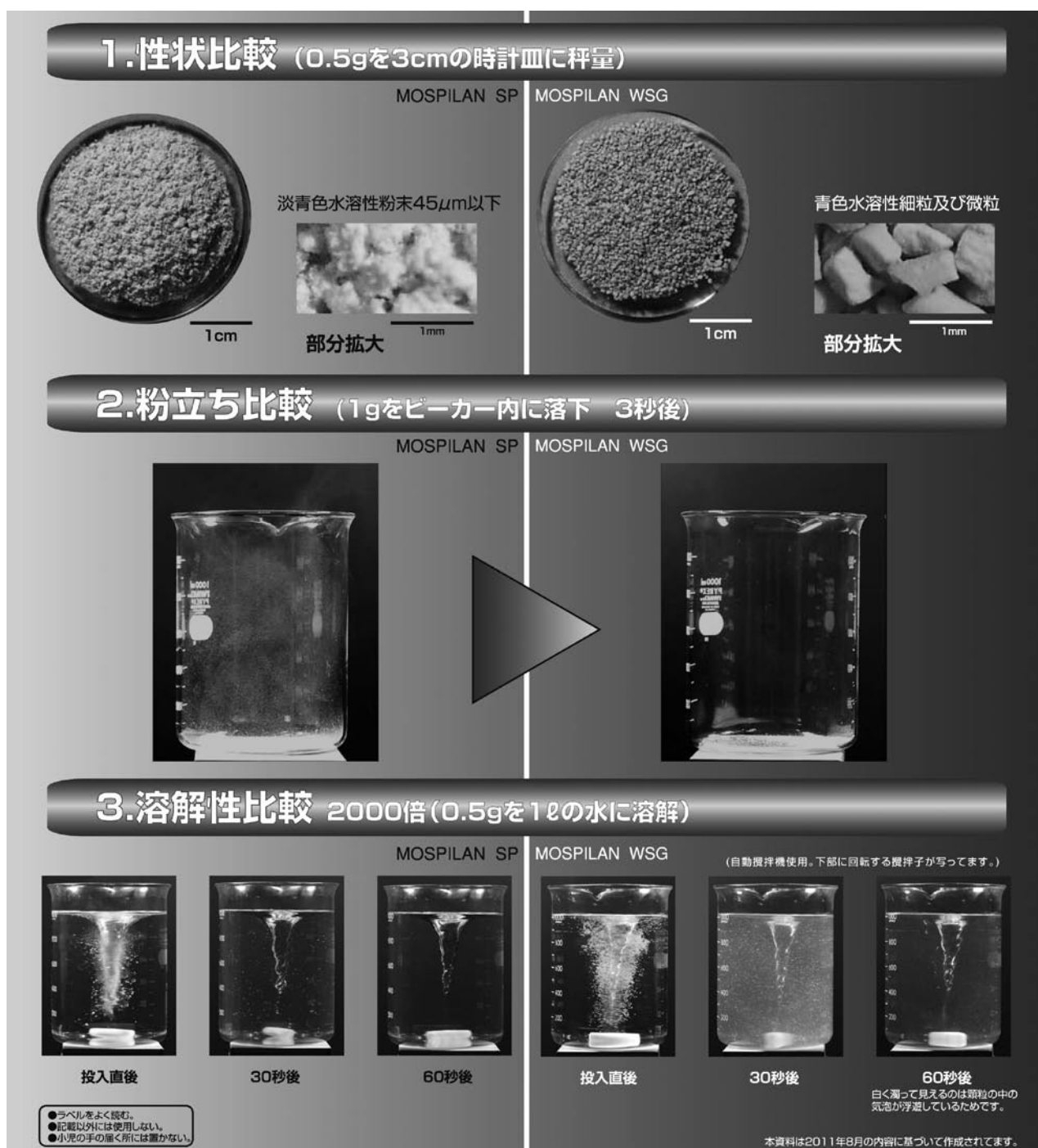


図2.モスピラン顆粒水溶剤

2. 有効成分と物理化学的性状

1. 有効成分：アセタミプリド
2. 製剤：20%顆粒水溶剤
3. 形状：青色細粒および微粒

3. 安全性

急性毒性：劇物

急性経口毒性	LD ₅₀ (ラット)	♂ : 808mg/kg
		♀ : 689mg/kg
	LD ₅₀ (マウス)	♂ : 679mg/kg
		♀ : 641mg/kg
急性経皮毒性	LD ₅₀ (ラット)	♂、♀ : >2000mg/kg
急性吸入毒性	LD ₅₀ (ラット)	
		♂、♀ : >3.5mg/L (4hr)

刺激性：

皮膚刺激性	刺激性なし (ウサギ)
眼刺激性	刺激性なし (ウサギ)
感作性	皮膚感作性なし (モルモット)
変異原性	陰性

環境影響：

急性魚毒性	LC ₅₀ (コイ) : >100mg/L (48hr)
-------	---

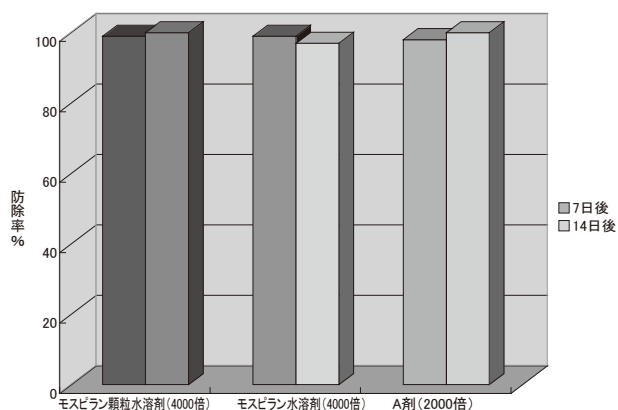


図3.いちごのワタアブラムシに対するハウス内効力試験
(2011年5月10日処理 日本曹達株)

ミジンコ遊泳阻害毒性 LC₅₀ : >100mg/L (48hr)

藻類生長阻害毒性 ErC₅₀ : >97.8mg/L (72hr)

4. 顆粒水溶剤と水溶剤との効力比較

モスピラン顆粒水溶剤は、水溶剤に水を加え混練し棒状に押出したものをカットした成型品 (図1) であるためそれらの効力は同等であると思われますが、ここではそれらの同等性を確かめるためにアブラムシ類に対する効力比較試験 (ハウス及び圃場試験) を行った例を紹介したいと思います。

それぞれ図3ではいちごのワタアブラムシ、図4ではりんごのリンゴコフキアブラムシの効力比較試験結果を示しています。いずれの結果においてもモスピラン顆粒水溶剤とこれまでの水溶剤とでは効力がほぼ同等であるとお解り頂けると思います。

よって、従来品より粉立ちが少なく、より使用者安全に配慮した製品になりました。

本剤はミツバチ・マルハナバチに影響がなく、いちご・トマトなどに活用できます。また、水溶剤がベースなので同様に汚れの少ない製剤です。

ただし、使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特にはじめに使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

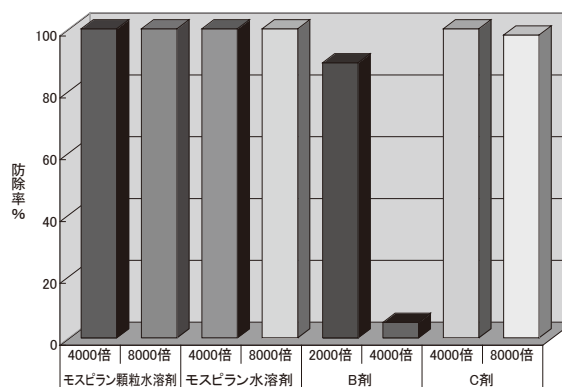


図4.りんごのリンゴコフキアブラムシに対する圃場試験
(2011年5月26日処理8日後調査 日本農薬株)

おわりに

モスピラン水溶剤を平成7年に上市して以来、約17年の長きに渡り皆様方にご愛用頂き誠に有難うございます。今回、モスピラン剤のリニューアルや使い易さの向上を目的に本剤を上市することとなりま

した。今後もその殺虫スペクトラムの広さや効果・特長をご理解いただき、効果的に使用して頂ければ幸いです。

最後になりましたが、本剤の開発に協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

表1.適用害虫と使用方法

*印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫（摘採）前の日数と、本剤及びアセタミプリドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用 時期*	本剤	総使用回数* アセタミプリド		
りんご	アブラムシ類、シンクイムシ類、キンモンホソガ ギンモンハモグリガ、カメムシ類、リンゴワタムシ	2,000～4,000	200～ 700	前日	3回	3回		
	カイガラムシ類、モモチョッキリゾウムシ	4,000						
	ケムシ類	2,000						
なし	アブラムシ類、カキノヒメヨコバイ、カメムシ類 シンクイムシ類、カイガラムシ類	2,000～4,000		14日				
ぶどう	カイガラムシ類、アザミウマ類、フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類成虫	2,000					収穫後秋期	14日
	ツマクロアオカスミカメ			2回				
	ブドウトラカミキリ							
かりん	ナシヒメシンクイ	2,000		14日	2回	2回		
キウイフルーツ	カイガラムシ類	2,000～4,000		7日	3回			
	キウイヒメヨコバイ			35日				
マンゴー	アザミウマ類	2,000		前日			3回	3回
もも	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000～4,000		3日				
ネクタリン	モモハモグリガ、シンクイムシ類、カメムシ類	4,000		前日				
すもも	シンクイムシ類	2,000～4,000		7日	1回	1回		
	アブラムシ類	2,000		前日				
小粒核果類 (すもも、うめを除く)	カイガラムシ類	2,000～4,000		3日	3回	3回		
	アブラムシ類	2,000～6,000		前日				
うめ	ケシキスイ類、ノコメトガリキリガ、カイガラムシ類	2,000		3日	1回	1回		
おうとう	アザミウマ類	4,000		2,000～4,000	3回	3回		
	オウトウショウジョウバエ、カメムシ類	2,000						
びわ	アブラムシ類、カミキリムシ類	2,000	100～300	前日	1回			
	カイガラムシ類	4,000						
ブルーベリー	オウトウショウジョウバエ	2,000	30～75	3回	3回			
いちじく	アザミウマ類、キボシカミキリ	2,000～4,000	200～700			14日		
	カイガラムシ類、イチジクヒトリモドキ	4,000	7日					
	かき	アザミウマ類、カキノヒメヨコバイ、カイガラムシ類 カキノヘタムシガ、カメムシ類	2,000～4,000	30日				
	かんきつ	アブラムシ類、ゴマダラカミキリ成虫、カイガラムシ類、ミカンバエ ミカンハモグリガ、ケシキスイ類、カメムシ類、アゲハ類	2,000～4,000	7日				
コナジラミ類		4,000	30日					
ゴマダラカミキリ※1		200～400	7日					
あけび（果実）	アブラムシ類	4,000	200～700	2回	2回			
アセロラ	カイガラムシ類	2,000	100～ 300					
パッションフルーツ	ゴマダラカミキリ幼虫※2	200	20	3回	4回（散布1回、樹幹散布3回）			
さんしょう（果実）	アザミウマ類	4,000	7日	1回				
さんしょう（葉）	アブラムシ類				45日	6回	6回	
パセリ はっか、オレガノ マジヨラム タイム、バジル、チャービル、ディル（葉） セーシ レモンバーム、つるな ソルガム 飼料用とうもろこし、まめ科牧草 いね科牧草	アブラムシ類	8,000	100～ 300	3日	3回	1回		
				7日				
		14日		3回	21日	3回	3回	
		14日						
		45日						
		90日						
		30日		5回	6回（粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回、散布は5回）			
		7日						
		キャベツ		コナガ、アオムシ	1,000～2,000	7日	5回	
		アブラムシ類		2,000～4,000				

使い方：散布（※1：かんきつのゴマダラカミキリに対する200～400倍の使用は、主幹から株元に散布）
（※2：さんしょう（果実）のゴマダラカミキリ幼虫に対する200倍の使用は、樹幹散布）

2011年8月現在の登録内容

表1.適用害虫と使用方法(続き)

*印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤及びアセタミプリドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用 時期*	本剤	総使用回数*		
はくさい ブロッコリー カリフラワー レタス 非結球レタス わさびだいこん だいこん はつかだいこん	コナガ、アオムシ アブラムシ類	1,000～2,000 2,000～4,000	100～ 300	14日	3回	アセタミプリド 4回(粒剤の株元散布及び土壌 混和は合計1回、散布は3回)		
	アブラムシ類、コナガ、アオムシ	2,000				3回		
	アブラムシ類	4,000		7日				
	アブラムシ類、アザミウマ類	4,000		7日	1回	4回(粒剤の株元散布は1回、散布は3回) 2回(粒剤の株元散布は1回、散布は1回)		
	コナガ	2,000						
	コナガ、アオムシ、キスジノミハムシ	2,000		14日	1回	1回		
	アブラムシ類	2,000～4,000						
	かぶ	カブラハバチ		4,000	21日			
		アブラムシ類、 キスジノミハムシ		2,000				
	非結球あぶらな科葉菜類	アブラムシ類		4,000	7日	2回	チンゲンサイは2回(粒剤の株元散布は1回、散布は1回)、チンゲンサイ以外は1回	
しそ、タラゴン	14日							
茎ブロッコリー	前日							
くきちしゃ、ふだんそう、エンサイ	7日							
非結球メキャベツ	2,000			※3 7日	1回	1回		
メキャベツ								
みづな、はこぐさ	8,000			14日	2回	2回		
ほうれんそう								
しゅんぎく								
メロン								
かぼちゃ	アブラムシ類	2,000		3日	3回	3回 3回(は種時または定植時の土壌混和は合計1回、散布は2回)		
にがうり、オクラ	4,000							
きゅうり	コナジラミ類、ウリノメイガ ミカンキイロアザミウマ	2,000		前日	3回	5回(2%粒剤の定植時の株元散布は1回、2%粒剤の定植後の株元 散布は1回、散布、くん煙及び1%粒剤の株元散布は合計3回)		
すいか	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000～4,000						
	ウリノメイガ、コナジラミ類	2,000		3日	3回	4回(定植時の土壌混和は1回) 散布及びくん煙は合計3回		
なす	アブラムシ類	4,000						
	コナジラミ類	2,000		前日	2回	4回(粒剤の定植時までの処理は1回 散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回)		
アザミウマ類	2,000～4,000							
ピーマン	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類	4,000		7日	2回	3回(粒剤の定植時までの処理は1回 散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計2回)		
とうがらし類	アブラムシ類	8,000						
トマト	アブラムシ類、コナジラミ類	2,000		前日	3回	4回(粒剤の定植時までの処理は1回 散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回)		
ミニトマト	アザミウマ類	2,000						
にら	アブラムシ類、アザミウマ類	4,000	14日	3回	3回			
らっきょう	アザミウマ類	2,000				7日	3回	3回 3回(は種時の土壌混和は1回、植付時の土壌混和及び 定植当日までの株元散布は合計1回) 4回(土壌混和は1回、散布は3回)
たまねぎ								
ねぎ								
わけぎ、あさつき								
いちご	コナジラミ類、アザミウマ類	2,000～4,000	前日	2回	3回(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回) 散布及びくん煙は合計2回			
	アブラムシ類							
ばれいしょ	デントウムシダマシ	2,000～4,000	7日	3回	4回(植付時の土壌混和は1回) 植付後は3回			
	アブラムシ類	2,000～6,000						
やまのいも	アブラムシ類、アザミウマ類	4,000	種芋掘 取り7日	5回	3回 5回			
やまのいも(種芋栽培)								
やまのいも(むかご)								
とうもろこし (未成熟とうもろこしを除く)								
未成熟とうもろこし		アブラムシ類	2,000～4,000	14日	3回	3回 4回(は種時または定植時の土壌混和は合計1回、散布は3回)		
あずき								
豆類(ただし、えだまめ、さやいん (未成熟) (げん、さやえんどうを除く)							アブラムシ類	4,000
えだまめ							コナジラミ類	
さやえんどう		アザミウマ類						
さやいんげん		アブラムシ類	2,000～4,000	前日	2回	2回 3回(粒剤の株元散布は1回、散布は2回)		
アスパラガス	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類 ジョウホシホクヘビナガハムシ	4,000						
ふき	コナジラミ類	3,000	14日	3回	3回 4回			
しよくようほおすき	アブラムシ類	4,000						
食用ゆり	アザミウマ類	2,000	3日	1回	1回 2回			
食用さくら(葉)	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000						
食用ぎく	アブラムシ類、アザミウマ類	2,000	14日	2回	2回(定植時の土壌混和は1回) 1回			
モロヘイヤ	コナジラミ類	4,000						
セルリー	アブラムシ類	8,000	7日	2回	2回(定植時の土壌混和は1回) 1回			
アマランサス(莖葉)								
ヤングコーン	アザミウマ類	2,000	3日	1回	2回 5回			
きく	アブラムシ類	4,000						
花き類・観葉植物 (きく、ストックを除く)	アザミウマ類	2,000	前日	2回	5回(粒剤は1回) 5回			
ストック	アブラムシ類	2,000～4,000						
つつじ類	ツツジグンバイ	2,000	3回	5回	5回(樹幹注入は1回)			
やなぎ	ヤナギコハモグリ	2,000～4,000						
まつ	アブラムシ類	4,000	10日	2回	3回(定植後は2回)			
たばこ	チャノミドリヒメヨコバイ、チャノホソガ	2,000～ 4,000						
茶	チャノキイロアザミウマ	200	25～180 200～400	(摘採) 14日	1回	1回		
てんさい ※4	デンサイトビハムシ デンサイモグリハナバエ	200	ペーパーボット1冊 当たり1ℓ (3ℓ/㎡)	定植前				

使い方：散布（※4：てんさいは苗床灌水）

※3：みつばの収穫7日前まで、但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで

2011年8月現在の登録内容